

SONY

3-757-121-06 (1)

TV(1-12ch)/FM/AM PLLシンセサイザーラジオ

取扱説明書・保証書

お買い上げいただき、ありがとうございます。

警告
電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

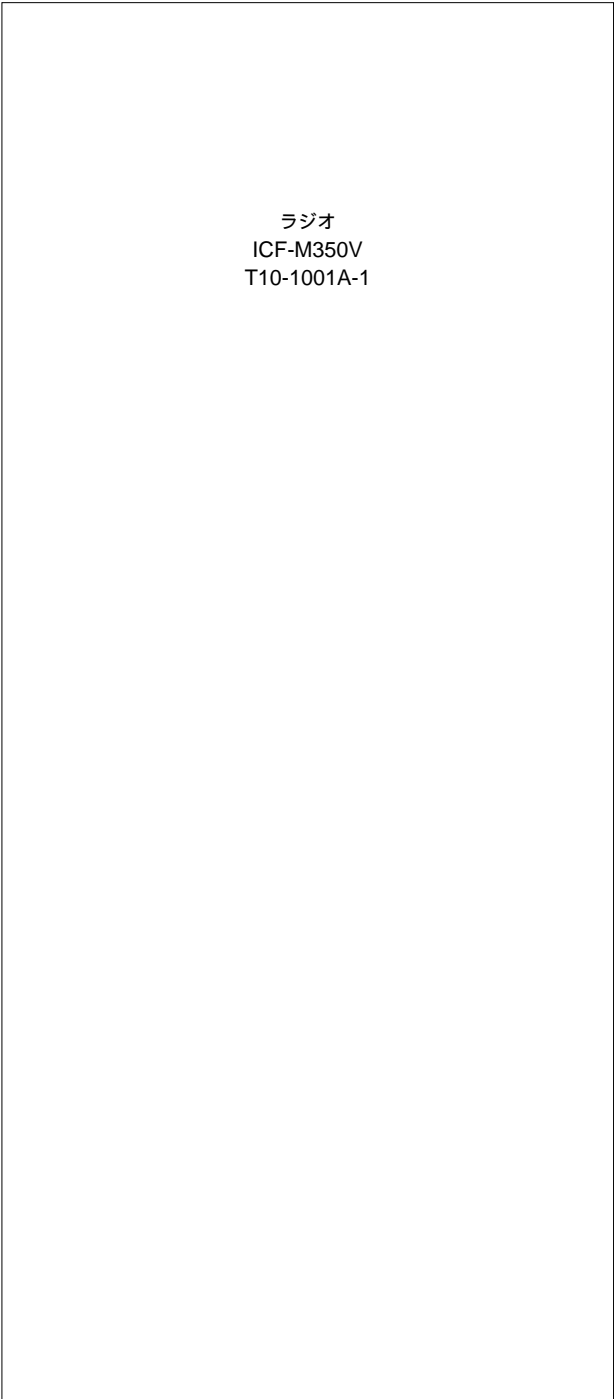
© 1993 Sony Corporation

Printed in Malaysia

ICF-M350V

© 1993 Sony Corporation

Printed in Malaysia



商品の修理、お取り扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

- <http://www.sony.co.jp/SonyDrive/>

お客様ご相談センター
● **ナビダイヤル** …………… **0570-00-3311**
(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)
● **携帯電話・PHSでのご利用は** ……**03-5448-3311**
(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)
● **FAX** …………… **0466-31-2595**
受付時間：月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

主な特長

- 安定した受信ができる、PLLシンセサイザー採用のTV(1～12チャンネルの音声)/FM/AMポータブルラジオ。
- TV、FM、AM各5局、合計15局の放送局を記憶させること(プリセット)が可能。いったんプリセットしておけば、あとはプリセットボタンを押すだけでワンタッチ選局ができます。
- 液晶による周波数と時計のデジタル表示。

AM放送の周波数ステップ(間隔)について
このラジオは、工場出荷時、AMの周波数間隔が9 kHzに設定されています。お使いになるときは、その国の周波数ステップに合わせてください(「海外でAM放送を聞く」参照)。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 次のような場所には置かないでください。
 - 温度が非常に高い所(40℃以上)や低い所(0℃以下)。
 - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - 風呂場など湿気の多い所。
 - 窓を閉め切った自動車内(特に夏季)、ほこりの多い所。
- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因となります。
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンは表面をいためますので使わないでください。
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカー内部の磁石の影響でカードの磁気に変化し、使えなくなることがありますのでご注意ください。
- このラジオのテレビ音声受信回路は、FM放送の受信回路と兼用になっています。このため、一部の地域では、テレビ2、または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。このときは、お客様ご相談センターまたは、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

万一故障した場合は、内部をあけずに、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

サービス依頼について
修理のために本体をお預けになると、修理内容により、プリセット局のメモリーが消えてしまう場合があります。重要なデータは控えを取っておくことをお勧めします。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス
調子が悪いときは この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではラジオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

周波数範囲		
バンド	周波数範囲	周波数ステップ
TV	1～12ch	1ch
FM	76.0～90.0 MHz	0.1 MHz
AM	531～1,710 kHz 530～1,710 kHz	9 kHz(日本国内、その他の国々) 10 kHz(北・南米の国々)
スピーカー出力端子	直径7.7cm、丸型4	1個
	◎(イヤホン)端子	
	(3.5 mmミニジャック)1個	
実用最大出力	280 mW(JEITA*/DC)	
電源	DC 4.5 V、単3形乾電池3個	
最大外形寸法	約195×95×32.5 mm	
	(幅/高さ/奥行き)(JEITA)	
質量	約442g(乾電池含む)	

* JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。

付属品
ソニー単3形乾電池(お試用*)(3)、取扱説明書・保証書(1)、ソニーご相談窓口のご案内(1)

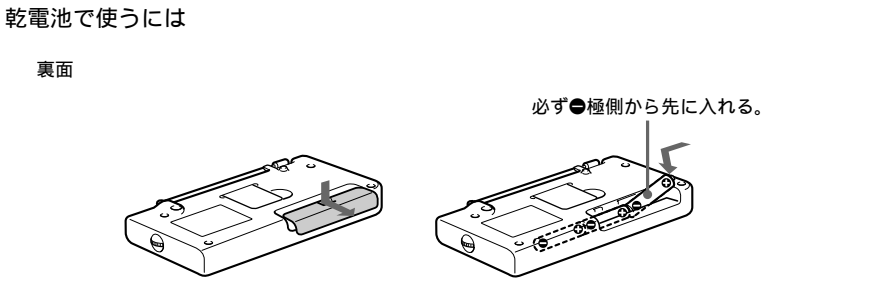
* 付属の乾電池はお試用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売りアクセサリ
ACパワーアダプターAC-E45M

▶準備する

電源について



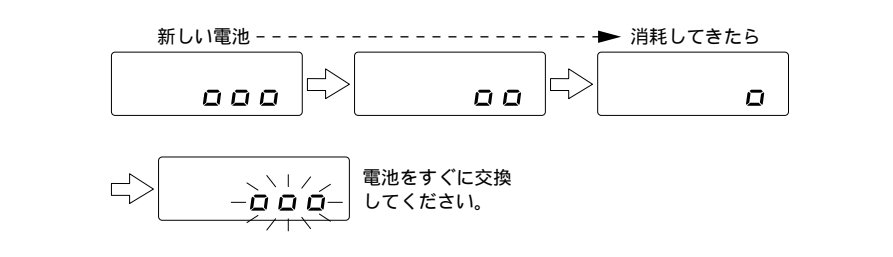
1 電池入れのふたを開け、単3形乾電池3本を⊕と⊖の向きを正しく入れる。初めて乾電池を入れたときは、「AM12:00」が点滅します。時計を合わせると点滅は止まります。

2 ふたを閉める。

乾電池の持続時間	(JEITA*)		
	TV	FM	AM
ソニー単3形(LR6)アルカリ乾電池	約35時間	約40時間	約57時間
ソニー単3形(R6)マンガン乾電池	約12時間	約15時間	約21時間

* JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。実際の電池持続時間は、使用する機器の状況により変動する可能性があります。

乾電池の残量表示
POWERボタンを押して電源を入れると表示窓に「○○○」が点灯し、約1.5秒後に周波数が表示されます。



乾電池の交換時期
乾電池が消耗すると、「○○○」表示が点滅します。(その前に音が小さくなったり、ひずんだりする場合もあります。)このままの状態で再び電源を入れると、少しの間はご使用になれますが、すぐに電源が切れ、再び「○○○」表示が点滅します。「○○○」表示が点滅を始めたら、乾電池を3本とも新しいものと交換してください。交換後は「○○○」表示が点滅したままですが、POWERボタンを押すと「○○○」表示が点灯します。

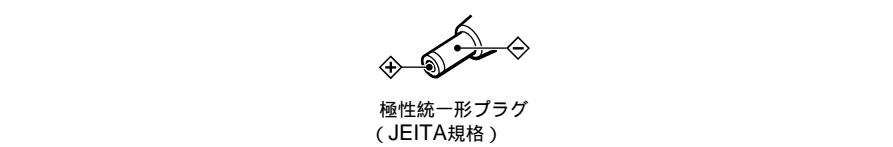
乾電池を交換するときには
電源をいったん切り、約60秒以内に交換をすませてください。60秒以上経過すると、プリセットした局および時刻が消えてしまい、表示窓に「AM 12:00」が点滅します。

ご注意
長い間乾電池を抜いておくと、ご自分で記憶させた放送局や時刻設定は消えてしまいます。その場合はプリセットと時間合わせを再度行ってください。

その他の電源で使うには
本機のDC IN4.5V(^{ディーシーイン}外部電源)端子に外部電源機器をつなぐと、乾電池が入っていても、自動的に外部電源に切り換わります。

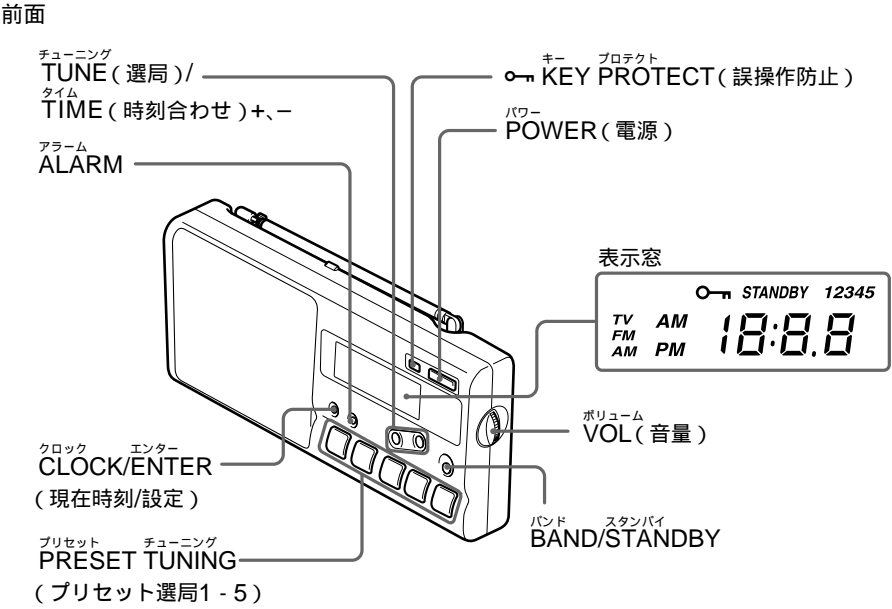
コンセント(家庭用電源)で使うには
別売りのACパワーアダプターをDC IN4.5V端子につなぎます。アダプターはDC IN4.5V端子とコンセントにしっかり差し込んでください。

ご注意
・外部電源で本機を使うときも、内蔵のマイコンのバックアップ用として乾電池を入れておいてください。この場合も乾電池は消耗しますので、約1年を目安に交換してください。
・外部電源のプラグを抜き差しするときは、本機の電源を切ってから行ってください。電源を入れたまま行うと、電源が切れて「○○○」表示が点滅します。この場合、もう1度本機の電源を入れると表示は点灯します。
・乾電池を使うときは、必ずACパワーアダプターをコンセントから抜いたあと、本機のDC IN4.5V端子からプラグを抜いてください。DC IN4.5V端子に外部電源のプラグがつながっていると乾電池でも動作しませぬ。
・この製品には、別売りのACパワーアダプター*をご使用ください。指定以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。

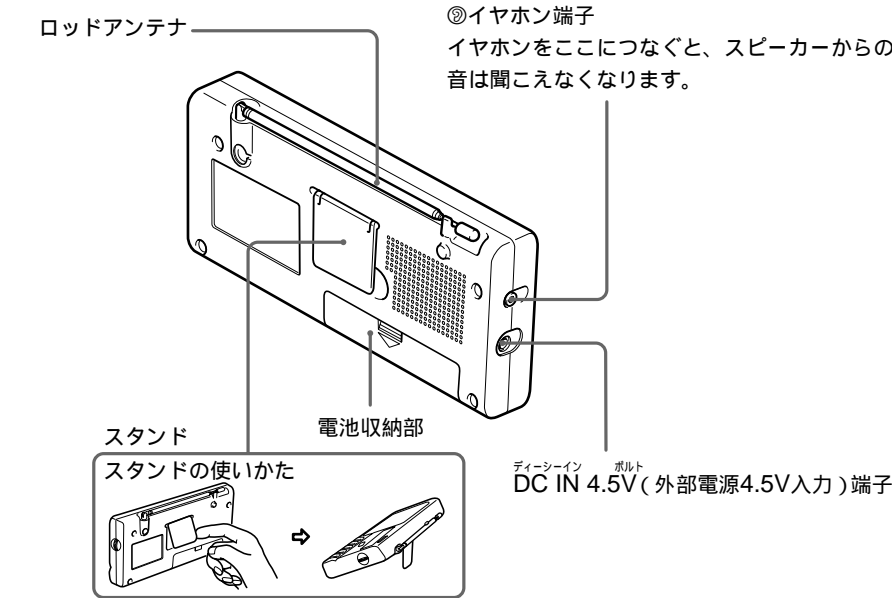


* 別売りのACパワーアダプターについて詳しくは「主な仕様」をご覧ください。

各部の名称



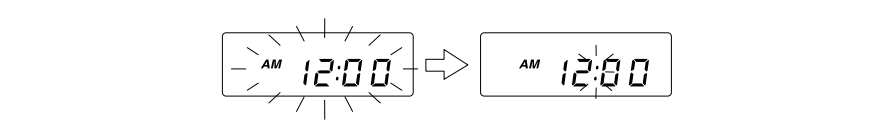
裏面



時計を合わせる

時計合わせは、ラジオの電源を切って行ってください。

- 最初に乾電池を入れると、表示窓に時刻表示が現れて点滅します。CLOCK ENTERボタンを押すと、時刻表示が点灯します。



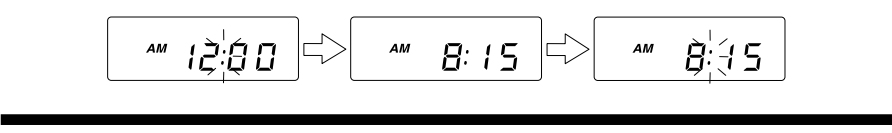
- CLOCK/ENTERボタンを押しながらTUNE/TIME(+または-)ボタンを押して現在時刻を合わせる。+ボタンを押すと時刻は先に進み、-ボタンを押すと、後に戻ります。時刻を速く進ませたり戻したりするには、+または-ボタンを押し続けます。

- CLOCK/ENTERボタンを離す。時計が動き始め、「:」が点滅します。

秒まで正確に合わせるには
電話の時報サービス(117番)をご利用になると便利です。

例：午前8時15分に合わせるには

- 1と2で説明されている操作をする。
- 午前8時15分に合わせる。
- 時報と同時にCLOCK/ENTERボタンを離す。時計は0秒より動き始めます。



誤操作を防ぐ キープロテクト

不用意に電源が入ったり、受信局が切り換わるのを防ぐにはKEY PROTECTボタンを押します。表示窓にⓀマークが出て、前面にあるボタン類がすべて動かなくなります。(ただし、VOLつまみは動きます。)

アラームを設定しているとき(表示窓に「STANDBY」表示が出ています) KEY PROTECTボタンを押すと、アラームの設定はⓀマークを消さない限り解除されます。

キープロテクトを解除するにはKEY PROTECTボタンをもう1度押します。Ⓚマークが消えます。

▶ラジオを聞く

海外でAM放送を聞く

受信する周波数ステップ(間隔)を、お使いになる国に合わせて切り換える必要があります。工場出荷時、このラジオは9 kHzに設定されています。

地域	周波数ステップ
北米・南米の国々	10 kHz
日本国内・その他の国々	9 kHz

ご注意

- 周波数ステップを切り換えると、時計の設定とプリセット番号に記憶しておいた放送局が消えて、表示窓には「AM 12:00」が点滅します。この場合は、もう1度設定し直してください。
- AMの周波数ステップを「10kHz」に切り換えると、TV音声の受信、および日本国内(9kHzステップ地域)でのAM放送の受信はできません。

- POWERボタンを押してラジオの電源を切る。
- CLOCK/ENTERボタンを押しながら、POWERボタンを5秒以上押し続ける。AM周波数の間隔が切り換わります。もう1度切り換える(元に戻す)には手順2を繰り返します。

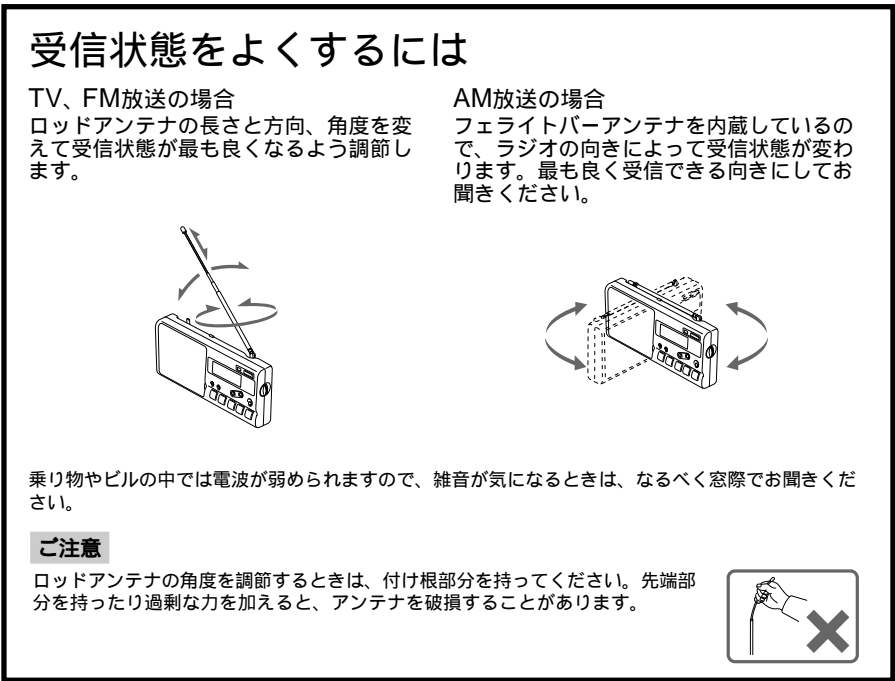
周波数を選んで聞く

マニュアル選局

- POWERボタンを押してラジオの電源を入れる。表示窓にラジオを消す前に聞いていた放送局の周波数が表示されます。
- VOLつまみを少し回して音を出す。
- BAND/STANDBYボタンでTV、FMまたはAM放送を選ぶ。TV放送、FM放送とAM放送が下記の順番で選ばれます。(それぞれの最後に聞いていた放送局の周波数が現れます。)

▶ AM FM TV
- TUNE/TIMEボタン(+または-)で聞きたい局に合わせる。TV放送は1chステップに、FM放送の周波数ステップは0.1MHzに、AM放送の周波数ステップは9kHzに設定されています。
- 音量を調節する。

ラジオの電源を切るにはPOWERボタンを押します。



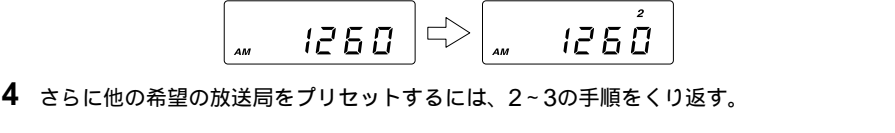
いつも聞く放送局を記憶させて聞く

- プリセット選局

TV、FM放送、またはAM放送をそれぞれ5局ずつ、PRESET TUNINGボタン(1~5)に設定しておくことができます。聞きたい放送局の周波数を1度記憶させておけばあとの選局はワンタッチ。PRESET TUNINGボタンを押すだけで正確な受信ができます。

プリセットするには

- POWERボタンを押してラジオの電源を入れる。
- 聞きたい放送局(例ではAM1260kHz)に合わせる(マニュアル選局参照)。
- CLOCK/ENTERボタンを押しながらPRESET TUNINGボタン(例では2)を押す。プリセット番号が現れます。



- さらに他の希望の放送局をプリセットするには、2~3の手順をくり返す。

プリセットした放送局を変更するには

2~3の手順に従い、放送局を変更したいボタンに別の放送局をプリセットします。前にプリセットした放送局は消えます。

プリセットされた放送局を聞くには

- POWERボタンを押してラジオの電源を入れる。
- BAND/STANDBYボタンでTV、FMまたはAM放送を選ぶ。
- 聞きたい放送局をプリセットしてあるPRESET TUNINGボタン(1~5)を押す。
- 音量を調節する。

ラジオを希望の時刻に鳴らすには

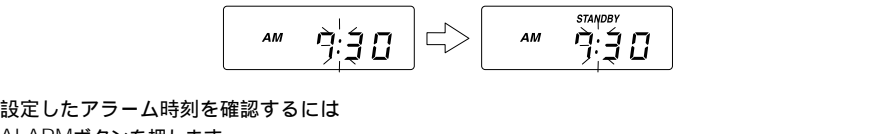
希望の時刻をセットしておく、その時刻になると最後に聞いていた放送局が鳴り出します。そのままにしておくと、約60分後に自動的に切れます。

- アラーム時刻を合わせるには
- ラジオの電源を切る。
 - ALARMボタンを押しながらTUNE/TIMEボタン(+または-)でアラームの時刻を合わせる。ALARMボタンを押している間、「STANDBY」表示が点滅します。
 - ALARMボタンを離す。アラーム時刻が設定され、表示窓は時刻表示に戻ります。



アラームを設定するには

- ラジオの電源を切る。
- BAND/STANDBYボタンを押す。「STANDBY」表示が出ます。



設定したアラーム時刻を確認するにはALARMボタンを押します。

アラームを止めるには約60分後に、ラジオの電源は自動的に切れますが、その前にラジオを止めるには、POWERボタンを押します。

アラームを解除するにはラジオの電源が切れているときに、BAND/STANDBYボタンを押します。「STANDBY」表示が消えます。

ご注意

「AM 12:00」表示が点滅しているときは、アラーム時刻を合わせることも、アラームを設定することもできません。

故障とお考えになる前に

サービス窓口にご相談になる前にもう1度チェックしてみてください。

悪いところは？	原因は？	直しかた
まったく動かない。	乾電池の入れかたが違う。 <p>乾電池が消耗して000表示が点滅している。</p> <p>Ⓚマークが表示されている。</p>	⊕⊖を正しく入れ直す。 <p>新しい乾電池に交換する。</p>
ラジオの電源が入らない。	ACパワーアダプターがはずれている。 <p>ACパワーアダプターをつないだまま乾電池で使おうとしている。</p>	しっかり差し込む。 <p>乾電池で使うときは、ACパワーアダプターをはずす。</p>
各操作をしても受け付けない。	Ⓚマークが表示されている。	KEY PROTECTボタンを押してⓀマークを消す。
表示部の文字が薄く見にくい。または出ない。	乾電池が消耗している。 <p>極端に暑い所、寒い所、湿気の多い所で使っている。</p>	新しい乾電池に交換する。 <p>適当な場所を選ぶ。</p>
音がまったく聞こえない。	音量が最小になっている。 <p>イヤホンがⓂ端子に差し込まれている。</p>	VOLつまみをまわす。 <p>イヤホンを抜く。</p>
	乾電池が消耗している。	新しい乾電池に交換する。
雑音が入る、音が悪い。	選局やアンテナの調節が不十分である。 <p>電波が弱い。</p>	受信状態が良くなるようにアンテナを調節する。 <p>建物や乗物の中などでは窓際で聞く。</p>
	プリセットした周波数が消えている。	プリセットし直す。
PRESET TUNINGボタンを押しても、プリセットしたはずの放送局が受信できない。	プリセットしたい番号のボタンを押してから、CLOCK/ENTERボタンを押している。	CLOCK/ENTERボタンを先に押しながら、プリセットしたい番号のボタンを押す。